

2023年

ボランティア情報 9月

「第61回広島県身体障害者福祉大会」 運営協力ボランティア募集

広島県身体障害者団体連合会・東広島市身体障害者福祉連合会が主催する『第61回広島県身体障害者福祉大会』について運営協力をしてくださるボランティアを募集しております。

日時 令和5年10月26日(木) 8:30~13:00

場所 東広島市黒瀬生涯学習センター

内容 大会の受付補助・会場案内補助など

申込 9月19日(火)までに、
電話・FAXまたはEメールもしくは
右記QRコードからLINEにて申し込み



募集人数 35名程度

その他 大会終了後、1000円の交通費と
お弁当の支給がございます

ふりがな

参加者氏名

ご連絡先 電話番号



【お問い合わせ】

東広島市社会福祉協議会 企画福祉課

T E L : (082)422-4075

F A X : (082)423-8525

M A I L : kiaku@soyokazenet.jp

パラスポーツの歴史ダイジェスト

今回のボランティア情報は、パラスポーツの歴史をちょっとだけご紹介します。

周りの人より物知りになって、「パラスポーツって知らないよ～」という人に説明してあげてください。



車いす バスケット

多くの障がい者を生んでしまった第二次世界大戦後に、アメリカとイギリスの両国で車いすバスケットボールははじまりました。

バスケットボール発祥の地アメリカでは、戦争により障害を持ってしまった人々が情熱を傾けることができるものとして急速に発展していきます。イギリスではストークマンデビル病院のグットマン博士により脊髄損傷者の治療法のひとつとして導入されます。

車いすも当初は日常使用のものが用いられていましたが、だんだんに競技用のものが工夫され、現在はハイレベルな競技が行われています。

1956年にオランダで戦争で傷ついた兵士たちのリハビリを目的に考案され、パラリンピックの正式競技となりました。

床にでん部をつけた状態でプレーするため、コートの上は一般のバレーボールコートよりも狭く、ネットの高さも低く設定されています。

サーブ、ブロック、アタックなどで立ち上がったたり、飛び跳ねたりすると反則になってしまいます。

シッティング バレーボール



ブラインド サッカー

ブラインドサッカーは障がい者の方、特に目が不自由な方にも何とかサッカーを楽しむ方法はないか、という趣旨で1980年代に開発されたスポーツです。

国際ルールが日本に導入されたのは2001年のことであり、日本においては非常に歴史の浅いスポーツです。

もっとも、日本でも独自に視覚障がい者がサッカーを楽しむよう、ルールを考案し、ブラインドサッカーそのものはプレーされてきました。具体的には、盲学校で独自のルールを考案し、プレーしてきた歴史があります。

車いすラグビーは、車いすバスケットボールに代わる競技を探していた四肢麻痺者等（頸髄損傷や四肢の切断、脳性麻痺等で四肢に障がいのある者）の選手たちによって、1977年にカナダで考案されました。

ラグビー、バスケットボール、バレーボール、アイスホッケー等の要素が組合せられたオリジナルの競技であり、バスケットボールと同じ広さの室内のコート、バレーボールの5号球を基に開発された公式専用球を使用します。

車いす同士のコンタクト（タックル）が認められているため、競技用の車いすはハードなプレイに耐え得る専用の車いすを使用します。

車いす ラグビー



*注
車いすラグビーのボールはこの形ではありません

【発行】東広島市社会福祉協議会 企画福祉課

あったか応援センター

◎連絡先

TEL : (082)422-4075

FAX : (082)423-8525

MAIL : kiaku@soyokazenet.jp

◎ホームページ

<https://higashihiroshimashi-syakyo.jp/>

◎社協インスタグラム

◎LINEでも配信中です！

ぜひ登録をお願いします♪

